

第41回技能五輪国際大会・ロンドン大会

「オフセット印刷職種」日本代表・伊東真規子選手金メダルを獲得

10月4日から10日まで英国・ロンドンで開かれていた「第41回技能五輪国際大会」が閉幕し、成績が発表され、「オフセット印刷職種」の日本代表の伊東真規子選手(亜細亜印刷㈱)が金メダルを獲得した。印刷職種は、前回のカルガリー大会の菊池選手(凸版印刷㈱)に引き続いての金メダルとなる。



閉会式で表彰台に立つ伊東選手（金メダル）

技能五輪国際大会は22歳以下(一部職種を除く)の若者が技を競い合う技能の祭典。ロンドン大会は、51カ国・地域から約1000人が参加し、5日から4日間の日程で46の競技を行った。日本は39職種に44人の選手を派遣し、「印刷」など金メダル11個を獲得(銀メダル4個、銅メダル4個で合計メダル数19個)。前回大会の6個を大幅に上回ったが、国別の金メダル獲得数で韓国に二つ及ばなかったものの、国際大会での二桁の金メダル獲得は40年ぶりの好成績であった。

オフセット印刷職種には、フランス、スイス、スウェーデン、アメリカ、ドイツ、香港、ベルギー、フィンランド、日本、デンマーク、カナダの11カ国が参加し、10月5日～8日まで4日間にわたり、印刷(2課題)、調色、オンデマンド印刷機操作、断裁、メンテナンス、ローラーセッティング、濃度測定、そして印刷シミュレータ SHOTS(3課題)の計11課題について、600点満点でその技を競った。

競技課題は、11カ国から選出されたエキスパートの話合いで決定され、採点についても自国の選手を除いてエキスパートが担当。競技の結果は、伊東選手が542点で金メダル、銀メダルはフィンランドで531点、銅メダルはベルギーで527点、その他ドイツ、フランス、デンマークの選手が敢闘賞となった。

次回の「第42回技能五輪国際大会」は、2013年にドイツのライプチヒで開かれることが決定しており、印刷職種の国内予選会は2012年の7月～9月に、(社)日本印刷産業連合会が主催し開催される予定である。

★ 技能五輪国際大会のスナップ写真

■ 伊東選手の競技日程は以下の通りであった。

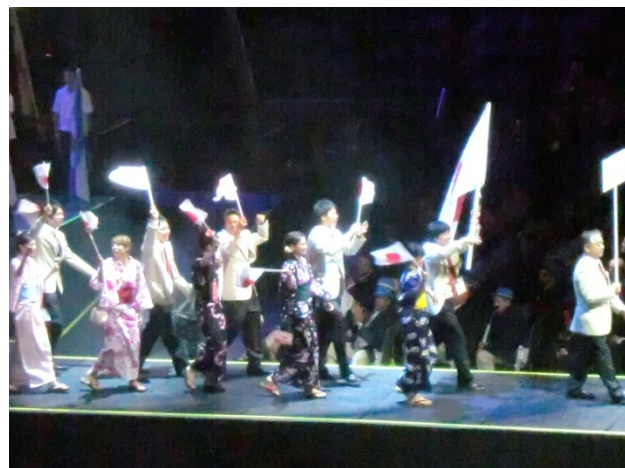
- ① 初日 : オンデマンド機操作と断裁、Shots① メンテナンス
- ② 2日目 : 印刷①、調色、Shots②
- ③ 3日目 : 印刷②、Shots③
- ④ 4日目 : ローラーセッティング、インキ濃度測定

開会式①



・英国首相も参加しての開会式 51カ国・地域の参加

開会式②



・日本の女子選手団はゆかた姿での行進です

競技① 断裁



・オンデマンド印刷機で印刷した葉書の裁断が課題に取り組む伊東選手

競技② エキスパートからの課題



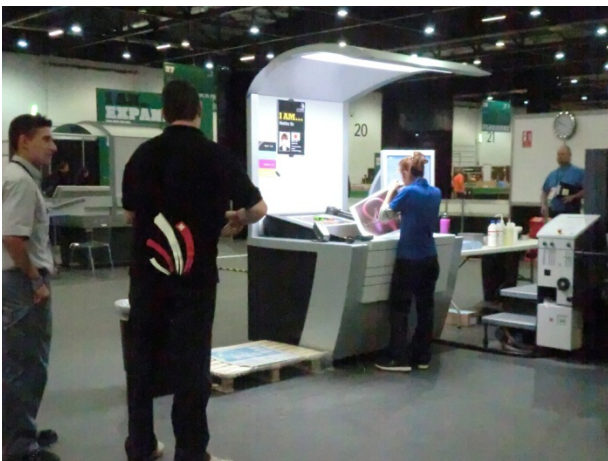
・エキスパートから課題説明、今回は日本から通訳が同行しています。

競技③ 調肉



・調肉は丁寧に取り組み、約 20 分で課題完了です。

競技⑤ 印刷



・二つ目の課題は 5 色印刷。最も緊張して取り組みました。

競技⑦ 印刷シミュレータ「SHOTS」



・SHOTS は自信を持って取り組みました。

競技④ 印刷



・印刷の課題は二つ。最初は 4 色ポスターの印刷

競技⑥ 無事終了しました



・最大の山場の印刷の課題を終えてホッと一息

大塚エキスパートのスナップ



・伊東選手の金メダル獲得に一番貢献しました。